

## 068 御池の龍伝説アートプロジェクト

都城市

■ 開催日：令和3年7月3日(土)～8月1日(日) ■ 開催場所：都城市立美術館(「御池の龍」オブジェ屋外展示)  
都城市立図書館(「御池の龍」資料展示)



## 実施状況

5月から6月中旬にかけて手掛けてきた巨大龍のオブジェが完成し、都城市立美術館の屋外に展示。日没の時間からライトアップされ、幻想的な世界に多くの人々が引き込まれました。

霧島に伝わる「御池の龍伝説」をモチーフにした九頭龍のインスタレーション(空間芸術)を展示し、「龍」に関するオンライントークイベントや素材の収集などを行いました。

プロジェクトを監修したのは、鹿児島県出身で秋田公立美術大学の藤浩志教授。市内のアーティストらと共に作り上げた長さ33m、高さ最大3.5mの巨大な龍のオブジェは、市民から集めた数千本の木の枝を用いて骨組みを作り、藤教授が過去の活動で集めた使わなくなったおもちゃ数千個を組み合わせて、躍動する龍の姿を色鮮やかに表現しました。

市立図書館では「みんなの龍プロジェクト」を実施し、龍にまつわる本や市民から集められたエピソードなどを紹介。来館者が思い思いの龍を描いた付箋約600枚を壁に貼り、展示しました。

同美術館の担当者は、「龍から感じ取ったことをなどを自由に想像してほしい。見た人が互いにコミュニケーションをとり、新たな発見があるとうれしい」と話していました。

## 主催

文化庁、厚生労働省、宮崎県、宮崎県教育委員会、都城市、都城市教育委員会、第35回国民文化祭宮崎県実行委員会、第20回国障害者芸術・文化祭実行委員会、第35回国民文化祭、第20回全国障害者芸術・文化祭都城市実行委員会、都城市美術展運営実行委員会

## 069 くにとみアートプロジェクト

国富町

■ 開催日：令和3年9月11日(土)～26日(日) ■ 開催場所：国富町総合文化会館



## 実施状況

国富町出身のアーティストたちが小学生や障がいのある人たちとともに、ワークショップでの体験や展示会に向けての作品制作に取り組みました。

令和3年7月にはアートマネ陶芸工房で「令和の埴輪制作ワークショップ」を開催しました。アート作品の共同制作では、同町出身で書道家の今井美恵子さんが制作プロデュースと文字指導を担当。町内の小学校4校の6年生と知的障害者総合福祉施設「向陽の里」の利用者が合同で、「国富の原風景と思いの一字を描く」をテーマに、各小学校が1作品ずつ、同施設が2作品を制作しました。

このうち本庄小学校の題材は「本庄稲荷神社の夏祭り」。稚児を乗せた太鼓台「ヨイマカ」を絵の具で描き、「魂」の文字を書き入れました。

制作した作品は会期中の共同作品展で公開されました。後面の通常の絵と、前面の透明のアクリル板に描いた絵を重ねることで立体感を表現。作品には、児童たちの思いがこもった漢字一字が描かれていました。

「大坪の一本桜」など町内の風景を描いた作品や、「絆」や「志」をキャンバスに力強く描いた作品を来場者は熱心に鑑賞していました。

来場していた中学生は、「森永小のイチヨウの木は懐かしく感じました」と話していました。

## 主催

文化庁、厚生労働省、宮崎県、宮崎県教育委員会、国富町、国富町教育委員会、第35回国民文化祭宮崎県実行委員会、第20回国障害者芸術・文化祭実行委員会、第35回国民文化祭、20回全国障害者芸術・文化祭国富町実行委員会

## 070 日向のお国自慢大集合！展

日向市

開催日：令和3年7月7日(水)～25日(日) 開催場所：日向市中央公民館



## 実施状況

若山牧水にひょっとこ踊り。日向市ならではの題材をテーマにした美術作品123点が展示され、訪れた市民らは1点1点に足を止め、じっくりと鑑賞していました。

故郷の良さを見直そうと、「自慢したくなる、行ってみたいくなる日向」をテーマに絵画、工芸・彫刻、写真、書道の4部門で作品を公募。いずれも一目で日向を感じさせる作品が集まりました。絵画や工芸・彫刻部門では歌人の若山牧水、腰をくねらせながら踊る独特のひょっとこ踊りをテーマにした作品が目立ちました。写真部門ではお倉ヶ浜や金ヶ浜などのサーフィン、朝焼けの中を出漁していく漁船、同市美々津の精霊流しの光景などを切り取った作品が並びました。

見慣れた風景の中にも、目新しい切り口で創作された作品が多く、来場者を飽きさせない作品展となりました。各部門に市民大賞が設けられ、来場者が気に入った作品に1票ずつ投票。各部門の最多得票の作品が大賞に選出されました。表彰式で十屋幸平市長は「日向の誇れる資源をテーマに、素晴らしい作品が集まりました」と喜んでいました。来場者からは次回の開催を期待する声もありました。

表彰 市民大賞4点

## 主催

文化庁、厚生労働省、宮崎県、宮崎県教育委員会、日向市、日向市教育委員会、第35回国民文化祭宮崎県実行委員会、第20回全国障害者芸術・文化祭実行委員会、第35回国民文化祭、第20回全国障害者芸術・文化祭日向市実行委員会、日向市文化連盟

## 071 延岡市美術展覧会 70回記念特別展

延岡市

開催日：令和3年8月4日(水)～10月17日(日) 開催場所：JR延岡駅前複合施設エンクロス 待合室2階



## 実施状況

延岡市美術展覧会の開催70回記念として、6部門計11点の特選・延岡市長賞および第70回記念特別賞受賞作品を入れ替えながら、延岡駅前複合施設エンクロスで展示しました。

節目の年に、すぐれた作品を一人でも多くの方に観てもらおうと、多くの方が行き来する待合スペースを会場とし、電車を待つ間にじっくりと鑑賞する人も見られました。作品は1点から数点ずつを一定期間(8～10日間)ごとに展示。期間中、新型コロナにより一時休止となりましたが、いずれも力作だけに多くの方が足を止めて見入っていました。

## 展示作品

【延岡市長賞(特選)】洋画、日本画・水墨画・ちぎり絵等、彫刻・工芸、書道、写真

【第70回記念特別賞】洋画、日本画・水墨画・ちぎり絵等、彫刻・工芸、デザイン、書道、写真

## 主催

文化庁、厚生労働省、宮崎県、宮崎県教育委員会、延岡市、延岡市県教育委員会、第35回国民文化祭宮崎県実行委員会、第20回全国障害者芸術・文化祭実行委員会、第35回国民文化祭、第20回全国障害者芸術・文化祭延岡市実行委員会、延岡市美術展覧会実行委員会 □協賛=旭化成株式会社

## 072 ～歴史彩る～高鍋の城址！日本の城址！写真展

高鍋町

開催日：令和3年9月11日(土)～26日(日) ■開催場所：高鍋町美術館



## 実施状況

高鍋町の高鍋城址<sup>じょうし</sup>をはじめ、県内外の城址のある風景の写真展を開きました。全国から応募された作品26点、審査員の作品8点を展示。石垣や歴史の積み重ねを感じる重厚な作品などが並びました。写真家で審査員を務めた森田敏隆さん(大阪府)の講演会は、新型コロナウイルスにより中止となり、代わりに映像作品を上映しました。

作品は、高鍋部門と全国部門の2部門で全国から公募。森田さんと全日写真西部本部委員の北園貢さん(同町)の2人が審査しました。

高鍋部門の最優秀賞は、同町の上野宏政さんの「夕照の小丸川」。夕暮れ時の小丸川の風景で、オレンジからグレーに多層的に染まっていく西の空と、小丸川の川面に投影された夕暮れの空が印象的な一枚です。審査員からは「光と影のコントラストが美しい」と評価。全国部門では、同町の宮崎金男さん「延岡城址」が選ばれました。

このほか、特別出品として森田さんと北園さんの作品も展示されました。

本展示会の担当者は、「普段歩いている風景が、歴史あふれる場所だと再発見してもらい、新しい魅力の発信になればうれしい」と話していました。

## 表彰

【高鍋部門】最優秀賞1点、優秀賞2点、奨励賞5点

【全国部門】最優秀賞1点、優秀賞2点、奨励賞3点



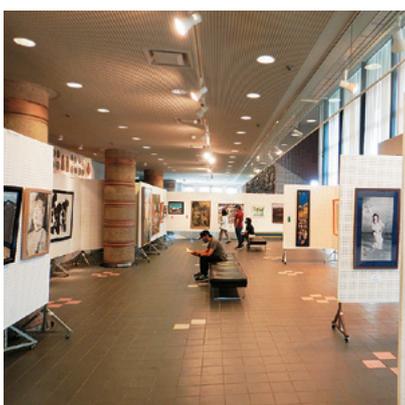
## 主催

文化庁、厚生労働省、宮崎県、宮崎県教育委員会、高鍋町、高鍋町教育委員会、第35回国民文化祭宮崎県実行委員会、第20回全国障害者芸術・文化祭実行委員会、第35回国民文化祭、第20回全国障害者芸術・文化祭高鍋町実行委員会、高鍋町文化協会  
▽協賛=宮崎キヤノン株式会社

## 073 西都市総合文化フェスティバル

西都市

開催日：令和3年9月18日(土)～26日(日) 10月7日(木)～10日(日) ■開催場所：西都市市民会館、まちなかギャラリー夢たまご



## 実施状況

西都市総合文化フェスティバルとして、6つの文化芸術イベントを開催する予定でしたが、新型コロナウイルスの感染拡大により、美術展と障がい者アート展、「つま」の街写真コンテストを開催しました。

美術展には絵画・書・写真・工芸の4部門を設け、絵画52点、書20点、写真27点、工芸11点、計110点を展示しました。地元の画家、弥勒祐徳さんの代表作の一つ「山の幸」も展示され、西都市市民会館館長でカウンターテナー歌手の米良美一さんとのトークショーも開催されました。また、書家の金澤翔子さんの書も展示され、華を添えました。

「つま」の街写真コンテストには、西都市内の地名である「つま」を連想させる人物や風景などの写真32点を展示。障がい者アート展は、絵画、陶芸など見る人の心を打つ作品が出品されました。

## 表彰

【西都市総合文化フェスティバル美術展】

絵画／特選、準特選、奨励賞 ▽書／特選、準特選、奨励賞

▽写真／特選、準特選、奨励賞 ▽工芸／特選、準特選、奨励賞

【「つま」の街写真コンテスト】

金賞1点、銀賞2点、銅賞3点



## 主催

文化庁、厚生労働省、宮崎県、宮崎県教育委員会、西都市、西都市教育委員会、第35回国民文化祭宮崎県実行委員会、第20回全国障害者芸術・文化祭実行委員会、第35回国民文化祭、第20回全国障害者芸術・文化祭西都市実行委員会

## 074 延JOYパラ・アート展

延岡市

開催日：令和3年9月19日(日)～26日(日) ■ 開催場所：カルチャープラザのべおか



## 実施状況

延岡市内の障がいのある人や児童が、同市在住の芸術家らの指導を受けて制作した絵画や書、写真など208点が展示されました。

令和2年1月から芸術家たちが施設や事業所に講師として出向き、時間をかけて作品作りに挑戦。延岡らしい鮎の塩焼き、城山の桜、五ヶ瀬川の夕焼けなど、思わず見とれるような作品が並びました。会場には制作中の様子を紹介する写真も添えられ、それぞれの事業所が作品の特徴を生かすディスプレイにもこだわりました。

来場者は部門ごとに足を止め、作者たちの活動の写真を見ながらじっくりと作品を鑑賞していました。

スペシャルゲストとしてダウン症の書道家・金澤翔子さんの揮ごうパフォーマンスが予定されていましたが、新型コロナにより中止に。金澤さんが来延した際、参加した事業所の利用者を対象に席上揮ごうした作品が展示され、多くの来場者が熱心に見入っていました。

参加事業所  
表彰

はまゆう園生活介護恒富事業所、旭化成アビリティ延岡営業所、生活介護事業所ぶらたなす、延岡こども発達支援センターさくら園、株式会社Wa【表彰】延岡市実行委員会会長表彰（4部門5名）

## 主催

文化庁、厚生労働省、宮崎県、宮崎県教育委員会、延岡市、延岡市教育委員会、第35回国民文化祭宮崎県実行委員会、第20回全国障害者芸術・文化祭実行委員会、第35回国民文化祭、第20回全国障害者芸術・文化祭延岡市実行委員会、障がい者にやさしいまちづくり実行委員会 ▽協賛＝旭化成株式会社

## 075 若山牧水顕彰作品展

延岡市

開催日：令和3年10月6日(水)～10日(日) ■ 開催場所：カルチャープラザのべおか アートギャラリー



## 実施状況

12歳から20歳までの多感な時期を延岡で過ごし、文学の才能を開花させた国民的歌人・若山牧水(日向市東郷町出身)。この展覧会は、同じく多感な時期を延岡で過ごす若い世代に、もっと牧水に親しんでもらいたいと企画されました。

「牧水の短歌」をテーマとした作品の出品を延岡市内の高校へ呼びかけた結果、書、写真、絵画、生け花など市内4校より計22点の応募があったほか、一般からも応募があり、計23点の作品を展示しました。

「浪、浪、浪」と、牧水の歌の一節を抜き出した書、「雲ふたつ合はむとしては…」の歌から想像した写真など、生徒たちは好みの歌を選んで制作しました。それぞれの作品には、短歌を選んだ理由や思いを綴った「作者のことば」も一緒に展示しました。

生徒たちは作品作りを通して、牧水と牧水の短歌への思いを深め、より理解する機会となったようです。会期中は200人以上が来場。延岡星雲高校の生徒が展示解説を行うイベントや、牧水と延岡との関わり、延岡での顕彰活動についてまとめたパネル展示などもありました。

参加校  
展示

参加校／聖心ウルスラ学園聡明中学校・高等部、延岡高校、延岡商業高校、延岡星雲高校  
展示／絵画5点、書道10点、写真6点、生け花2点

## 主催

文化庁、厚生労働省、宮崎県、宮崎県教育委員会、延岡市、延岡市教育委員会、第35回国民文化祭宮崎県実行委員会、第20回全国障害者芸術・文化祭実行委員会、第35回国民文化祭、第20回全国障害者芸術・文化祭延岡市実行委員会、若山牧水延岡顕彰会 ▽協賛＝旭化成株式会社

## 076 日南みんなの作品展 (中止)

日南市

開催日：令和3年9月19日(日)～26日(日) 開催場所：日南市生涯学習センター まなびピア

予定していた  
事業内容

この作品展は、「日南の<sup>いろ</sup>彩・風・人」をテーマに、日南市在住又は同市に通勤通学している方たちから作品を募集し、展示するもので、制作・鑑賞した方に、ふるさと日南の魅力を再発見・再評価してもらうとともに、優れた芸術作品を鑑賞する機会を作り、日南市の文化活動の一層の振興につなげるものとして企画されました。

一般の部、生け花の部、保育園(所)・認定こども園の部、小・中学校の部、高校生の部、障がい者の部に分かれて、絵画、書、写真、工芸、生け花の作品など幅広い分野に作品を募集し、664点もの作品を一堂に展示して鑑賞してもらう予定でした。さらに、同市美術展無鑑査の人たちも出展する予定でした。

しかし、新型コロナの影響を受け、中止となりました。

予定していた  
プログラム

- 1 サブテーマ「日南の<sup>いろ</sup>彩・風・人」を表現した絵画、書、写真、工芸などの作品展
- 2 市内保育園(所)、認定こども園の園児、小・中学生、高校生の作品展
- 3 障がい者の方々の作品展
- 4 生け花の作品展

## 主催

文化庁、厚生労働省、宮崎県、宮崎県教育委員会、日南市、日南市教育委員会、第35回国民文化祭宮崎県実行委員会、第20回全国障害者芸術・文化祭実行委員会、第35回国民文化祭、第20回全国障害者芸術・文化祭日南市実行委員会

077 障がいのある人もない人も楽しめる舞台  
かどがわハートフルシアター&障がい者アート展

門川町

開催日：令和3年7月3日(土)～10月17日(日) 開催場所：門川町総合文化会館ほか



## 実施状況

障がい者アート展は、門川町、日向市にある障がい者施設「白浜学園」の作品を中心とした展示会で、利用者が制作した絵画や書、立体作品など243点が会場を彩りました。会場は作品別にストーリーを持たせた演出が光りました。また、地域の子どもたちによる書道や、いけばな教室とのコラボ企画も実施しました。

10月17日に開催が予定されていた「かどがわハートフルシアター」では、落語家の桂大黒さんの落語や、障がい者アート展を音と映像で演出するステージなどを企画していましたが、新型コロナの影響で中止となりました。

障がい者  
アート展

出品／白浜学園 200点、阿伝堂草川書道会 19点、門川町華道連盟 23点、門川町子育て支援センター 1点

予定していた  
事業内容

<かどがわハートフルシアター>

【1部】落語と文化協会団体とのコラボレーション

【2部】ピアノとダンスと映像「障がい者施設の方々の作品を映像化して音と楽しむ」▽出演者／米良美一(ナビゲーター)、田村緑(ピアニスト)、セレノグラフィカ(ダンサー)、桂大黒(落語家)、門川町内外の障がい者施設入所者・通所者、門川町文化協会加盟団体(ダンス・コーラス)、門川町子育て支援センター利用者

## 主催

文化庁、厚生労働省、宮崎県、宮崎県教育委員会、門川町、門川町教育委員会、第35回国民文化祭宮崎県実行委員会、第20回全国障害者芸術・文化祭実行委員会、第35回国民文化祭、第20回全国障害者芸術・文化祭門川町実行委員会、公益財団法人門川ふるさと文化財団

## 078 みまた、まちとひとの演劇フェスティバル

三股町

開催日：令和3年7月17日(土)、18日(日) ■ 開催場所：三股町立文化会館



## 実施状況

「まち」と「ひと」と「演劇」を考えるフェスティバルとして、町民たちのインタビューを基にした「わたしの人生の物語、つづく。三股町編」を上演。公募で集まった三股町民や劇団こふく劇場の劇団員ら15人の舞台と、県内外の演劇関係者らを招いて開催された「まちとひとの演劇サミット」に約480人が訪れました。

令和3年3月頃から、名前に「幸」の付く30～80代の三股町民12組に「人生の物語」についてインタビューし構成。舞台では、町民が自らの人生を振り返る様子が演出されました。結婚や出産、子育て、仕事など日常の思い出を語るだけでなく、本人の話し方の特徴や身ぶりなども再現し、ドキュメンタリーシアターの形式で上演されました。参加した女性は「平凡でも、どの人生も尊い。今ある幸せに気付く大切さが伝われば」と話していました。

## プログラム

【わたしの人生の物語、つづく。三股町編】三股町民、劇団こふく劇場【まちとひとの演劇サミット】萩原宏紀(いわき芸術文化交流館アリオス演劇・ダンス事業グループチーフ)、松本恵美子(劇団ごきげんよう・微魔女企画)、松浦茂之(三重県文化会館副館長兼事業課長)、中貝宗治(一般社団法人豊岡アートアクション理事長)、平田オリザ(青年団・江原河畔劇場芸術総監督)、岩崎さえ(舞台芸術制作室無色透明)、鄭慶一(元・枝光本町商店街アイアンシアタープロデューサー)、前田晶子(劇団ゼロQ)、当山彰一(劇艶おとな団・アトリエ銘苺ベース代表)、永山智行(劇団こふく劇場)

## 主催

文化庁、厚生労働省、宮崎県、宮崎県教育委員会、三股町、三股町教育委員会、第35回国民文化祭宮崎県実行委員会、第20回全国障害者芸術・文化祭実行委員会、第35回国民文化祭、第20回全国障害者芸術・文化祭三股町実行委員会、劇団こふく劇場

## 079 お船出ものがたり異聞～いざ、東へ！～

ひんがし

日向市

開催日：令和3年8月8日(日) ■ 開催場所：日向市文化交流センター



## 実施状況

神武東遷の出発地とされる日向市美々津に伝わる「お船出伝説」をもとにした創作劇。コロナ禍で練習が制限されながらも、地元の実行委員会(三股晶子代表、10人)が中心となって準備を重ねてきた舞台を幻想的に演じ、定員の半分の600人が入った会場を魅了しました。

創作劇は平成27年に立ち上がった実行委員会により、出演者や脚本を替えながら毎年、同市内の各地で演じられており、今回は国文祭・芸文祭バージョンに仕立てての公演となりました。総合プロデューサーに、国内外で活躍する衣装デザイナーの時広真吾さん(東京都)を迎え、お船出する一行に、地元住民が立派な衣装を仕立てて送り出す様子が描かれました。

衣装は時広さんのオリジナル作品に加え、時広さんのデザインに合わせて寄贈された布を地元で縫製したものが使われました。演じたのは日向市民や県内の市民劇団員たち。きらびやかな衣装をまとい、凝った演出で神話の世界を全力で演じていました。

特に今回は、世界的ヴァイオリン奏者の古澤巖さんなどアーティストたちとの市民のコラボもあり、国文祭・芸文祭にふさわしい華やかな舞台となりました。

## 主催

文化庁、厚生労働省、宮崎県、宮崎県教育委員会、日向市、日向市教育委員会、第35回国民文化祭宮崎県実行委員会、第20回全国障害者芸術・文化祭実行委員会、第35回国民文化祭、第20回全国障害者芸術・文化祭日向市実行委員会、公益財団法人日向文化振興事業団、お船出ものがたり実行委員会

## 080 人形劇まつり 2020

延岡市

開催日：令和3年8月20日(金)、21日(土)、10月17日(日) ■ 開催場所：延岡総合文化センター



## 実施状況

大阪府の人形劇団クラルテによる長編大作「はてしない物語」の公演があり、来場した親子連れらは、命を与えられたかのように自在に動く人形に魅了されていました。

「はてしない物語」はドイツの児童文学作家ミヒャエル・エンデ原作。自分の能力におぼれ自分を見失った少年が、仲間助けられて大切なものに気づいていくという、上演時間2時間の大作。さまざまなキャラクターの人形が、プロの劇団員の手にかかると生きているかのような動きを見せ、観客をくぎ付けにしました。さらに、迫力のある照明や巨大なセット、場面を引き立てる音楽などで幻想的な世界を生み出していました。

コロナ禍のため、予定されていた残りのプログラムは10月17日(日)に、パート2として上演されました。クラルテによる2公演のほか、延岡市のアマチュア人形劇グループ風と土の子、りいぶるの2団体が、1年前から同劇団員から指導を受けながら練習してきた3作品を披露。紙のおもちゃを作って遊ぶ楽しさを学ぶワークショップも開かれ、世代を超えて楽しんでいる姿が見られました。

## プログラム

人形劇団クラルテ「はてしない物語」、「ぞうくんのさんぽ」、「ホレのおばあさん」▽アマチュア人形劇グループ「名前を見てちょうだい」、「だいくとおにろく」、「おおきなかぶ」

## 主催

文化庁、厚生労働省、宮崎県、宮崎県教育委員会、延岡市、延岡市教育委員会、第35回国民文化祭宮崎県実行委員会、第20回全国障害者芸術・文化祭実行委員会、第35回国民文化祭、第20回全国障害者芸術・文化祭延岡市実行委員会、のべおか風と土の学校、公益財団法人のべおか文化事業団 ▽協賛=旭化成株式会社

## 081 みまた演劇フェスティバル「まちドラ! 2021」

三股町

開催日：令和3年9月18日(土)、19日(日)、10月8日(金)、9日(土)、10日(日) ■ 開催場所：三股町立文化会館 ほか



## 実施状況

町民と全国各地の演劇人で作る三股町の演劇の祭りで、町内4つの公共施設が劇場となり、「カクドラ!」「ヨムドラ!」「ミルドラ!」の3種類のコンテンツを楽しむという趣向。期間中、延べ870人の観客が訪れ、劇場間を歩いて回りながら演劇一色の三股を楽しみました。

三股中学校吹奏楽部の演奏と詩の朗読で開幕し、「カクドラ!」には3人が挑戦。90分間で演劇の台本を書きあげるので、日常の会話をつなぎながら自分だけのドラマを描き上げました。完成した作品は「みちばたステージ」で、朗読劇として上演されました。

「ヨムドラ! (読むドラマ)」は劇場に仕立てた特設3会場で開催。町民が書いた戯曲5作品を公募で集まった10~70代の町民21人と九州の劇団が熱演しました。また、沖縄からゲストとして劇団を招き、県内高校演劇部の顧問が書いた作品も披露されました。「ミルドラ! (見るドラマ)」では、ダンスカンパニー「プロジェクト大山」がダンス公演「グッバイ! キャラバン」を上演。本格的な舞台芸術作品に、観客は魅了されていました。

9月18日、19日には、「ブレドラ!」として、福島県を拠点とする劇団「微魔女企画」による「おかえり」の上演もあり、約80人が来場しました。

## 主催

文化庁、厚生労働省、宮崎県、宮崎県教育委員会、三股町、三股町教育委員会、第35回国民文化祭宮崎県実行委員会、第20回全国障害者芸術・文化祭実行委員会、第35回国民文化祭、第20回全国障害者芸術・文化祭三股町実行委員会、劇団こぶく劇場

## 082 百済王族物語「千年王国」(中止)

木城町

開催日：令和3年8月29日(日)

開催場所：木城町総合交流センターリバリス ホール



予定していた  
事業内容

木城町の比木神社に祭られている百済王族、福智王の伝説をモチーフに、同町内のさまざまな団体が集まり、演劇と踊り、語り、手話も交えて表現する舞台上、2年前に上演されたものに、新たなシーンを加えての再演を予定していました。

百済王伝説は、同町と美郷町に残る、古代朝鮮から日本に亡命をしようとした王族の物語。途中、船が難破して離れ離れになった王族親子は、それぞれ両町に居を構えたと伝えられています。両町には師走祭りとして、親子の対面を再現する祭りが行われています。舞台上では親子の愛情と、取り巻く両町の住民たちとの人間愛が表現されています。

町民らでつくる木城夢見る劇団(湧上三月代表、31人)が出演。踊りで福智王四十八隊&ジュニア(25人)、場面を繋ぐナレーションとして語りで表現するじょんやまお話し(6人)と手話で表現する手話サークルもくもく(9人)も参加し、町民有志による手作りでの上映される予定でした。

新型コロナの影響で1年延期となり、令和3年4月から稽古を始めましたが、再び中断。7月からは仕事の合間を縫って、週1回のペースで稽古を重ねてきました。「長く語り継がれてきた伝説に基づく劇を子どもたちにも見てほしい」と、本番に向けて徐々に盛り上がりを見せていました。昼夜2回公演の予定を昼間の1回だけに減らして開催を目指しましたが、本番1週間前に中止となりました。

主催

文化庁、厚生労働省、宮崎県、宮崎県教育委員会、木城町、木城町教育委員会、第35回国民文化祭宮崎県実行委員会、第20回全国障害者芸術・文化祭実行委員会、第35回国民文化祭、第20回全国障害者芸術・文化祭木城町実行委員会

## 083 演劇「泣き虫伊兵衛 完結編」(中止)

国富町

開催日：令和3年9月26日(日)

開催場所：国富町農村環境改善センター



予定していた  
事業内容

江戸時代に実在した国富町生まれの剣豪・井戸川伊兵衛の生涯を描いた作品で、町民劇団による公演を予定していました。故郷の偉人にスポットを当て、400年以上も町内に語り継がれている剣豪の人となり、より多くの人に知ってもらおうと町民手作りの演劇を準備してきました。

伊兵衛は身長150cm 足らずと小柄ながら、長さ150cm ほどの刀を腰に差していたといわれます。脚本、演出は女優の南谷朝子さん(東京都)。町民有志でつくる劇団たそかれ(大山憲一郎代表、20人)が、平成30年に上演した作品の続編です。伊兵衛の青年期から晩年までをたどりながら、どのようにして伊兵衛が伝説の人物になったかを描いています。

新型コロナにより団員たちはリモートなどで練習を続け、7月には本番と同じ舞台での練習もできるようになりました。南谷さんが見守る中、役者同士の距離感、せりふの強弱など入念に確認し、剣豪だけに殺陣の練習にも力を入れてきましたが、新型コロナの影響で中止となりました。

大山代表は「伊兵衛を次代に受け継いでいくとともに、郷土のことを伝える演劇文化も根付かせたい」などと話していました。

主催

文化庁、厚生労働省、宮崎県、宮崎県教育委員会、国富町、国富町教育委員会、第35回国民文化祭宮崎県実行委員会、第20回全国障害者芸術・文化祭実行委員会、第35回国民文化祭、第20回全国障害者芸術・文化祭国富町実行委員会

## 084 神武－JINMU－～はじまりの物語～(中止)

都農町

開催日：令和3年10月3日(日)

開催場所：都農町民体育館



予定していた  
事業内容

都農町町制施行100周年を記念したオリジナルストーリーで、出演者公募の町民参加型の舞台公演を企画しました。出演には、小学生から80歳代までの町民ら約100人が参加。令和元年度から約2年間に渡り、新型コロナの影響で途中で中断しながらも、懸命に練習に取り組んできました。

物語は、後に神武天皇となるカムヤマトイワレビコノミコトの生い立ちから東遷、国造りを振り返り、現代へのメッセージを盛り込んだ4部構成。一行が日向の地を立ち、大和の国を平定する中で、葛藤と戦いながら、未来に残すべき地域の宝や人の尊さを現代に生きるすべての人に語りかける内容となっています。劇中の音楽制作は祈りをテーマに作曲活動を展開する音楽家の岡野弘幹さんが担当し、舞台での演奏も予定されていました。

また、元 THE BLUE HEARTS のドラマー梶原徹也さんや、舞台の振り付けを担当した「スガジャズダンススタジオ」の出演も決定しており、豪華なゲストと演出に期待が高まっていました。



主催

文化庁、厚生労働省、宮崎県、宮崎県教育委員会、都農町、都農町教育委員会、第35回国民文化祭宮崎県実行委員会、第20回全国障害者芸術・文化祭実行委員会、第35回国民文化祭、第20回全国障害者芸術・文化祭都農町実行委員会、都農町文化協会、NPO法人 都農enjoyスポーツクラブ

085 んまつーポス(日本) × Unlock Dancing Plaza(香港)  
「空想運動会」コンテンポラリーダンス公演

宮崎市

開催日：令和3年7月3日(土)、4日(日)

開催場所：宮崎市民プラザ オルブライトホール



実施状況

宮崎市を拠点に世界に活動の場を広げるコンテンポラリーダンスカンパニー「んまつーポス」と、香港のダンス界をけん引する「Unlock Dancing Plaza」が映像を通して共演。つくるスポーツをテーマにしたダンス公演「空想運動会」がダイナミックなパフォーマンスで繰り広げられ、約350人の来場者をくぎ付けにしました。

「逆さから物事を考えることで、新たな価値を創造する」独自の作品スタイルを展開する「んまつーポス」は「現代芸術的体育」と評され、国内だけでなく海外フェスティバルからも注目されています。本県でも、小中学生を対象に本格的なコンテンポラリーダンス鑑賞教室やワークショップを開催するなど、子どもたちの文化芸術への育成にも力を注いでいます。

今回の舞台では、事前ワークショップに参加した宮崎市内の小中学生も出演。それぞれがさまざまなスポーツ選手となり表現しました。アスリートの極限の身体の動きを切り取るなど、縦横無尽に走り回り躍動感を演出。映像での出演となった香港の「Unlock Dancing Plaza」はユニークな動きを披露し、会場は盛り上がりました。

来場した男児は「迫力があって格好良かった。初めてダンス公演を見たけれど、また見てみたい」と笑顔で話していました。



主催

文化庁、厚生労働省、宮崎県、宮崎県教育委員会、宮崎市、宮崎市教育委員会、第35回国民文化祭宮崎県実行委員会、第20回全国障害者芸術・文化祭実行委員会、第35回国民文化祭、第20回全国障害者芸術・文化祭宮崎市実行委員会、特定非営利活動法人 MIYAZAKI C-DANCE CENTER

## 086 日本舞踊で舞う～神話の源流～

延岡市

開催日：令和3年8月1日(日) 開催場所：延岡総合文化センター 大ホール



## 実施状況

延岡市出身で日本舞踊家の花柳達真さんが、この日のために創作、演出した舞踊劇「天翔る神々高天原物語」(2幕5場)を、地元の延岡日本舞踊協会会員らが演じ、会場を訪れた約1,000人の観衆を楽しませました。

岩戸開きなど県北にちなんだ神話をもとに創作されており、愛宕山、須美江など地元の地名などが登場し、身近に感じられる舞台になりました。また、盆踊り「ばんば踊り」を三味線で歌舞伎音楽調にアレンジした曲が流れ、「天国と地獄」「カルメン」など聞き覚えのあるクラシック音楽に合わせたコミカルな踊り、日本舞踊にはないせりふ付きの演出など、ミュージカルを思わせる公演となり、会場を楽しませる工夫が随所に織り込まれていました。

最後には、「心でつながる豊かな国」「疫病退散」などの言葉がステージから発せられ、国造りの神話と、コロナ禍と戦う現代とが重なり合う場面もありました。会場からは「日本舞踊を見直すきっかけとなった」などの声が聞かれ、伝統の舞踊の魅力を再発信することができました。

## 出演者

藝〇座(げいまるざ)、延岡日本舞踊協会、後藤紀子(ひむかオペラの会)、ダンススタジオ RHYTHM MASTER

## 主催

文化庁、厚生労働省、宮崎県、宮崎県教育委員会、延岡市、延岡市教育委員会、第35回国民文化祭宮崎県実行委員会、第20回全国障害者芸術・文化祭実行委員会、第35回国民文化祭、第20回全国障害者芸術・文化祭延岡市実行委員会、延岡日本舞踊協会、公益財団法人のべおか文化事業団 △協賛=旭化成株式会社

087 アート×ハート=パワフルフェスタ第2部  
障がいのある人もない人も共に創るステージ

都城市

開催日：令和3年10月3日(日) 開催場所：都城市総合文化ホール 大ホール



## 実施状況

「都城の宝」をテーマに、ふるさとの大切さを感じ、「障がいのある人もない人も尊重し合えるまち」を目指して開催されました。

公募で集まった約60人を子どもの「子ども元気チーム」、中高生の「アオハル素敵チーム」、障がいのある人とない人の「マーブル陽気チーム」、社会人の「おとな本気チーム」の4つのチームに編成。総合演出を務めた、振付家でダンサーの近藤良平さん(コンドルズ主宰)の指導で、ダンスをメインとしたオリジナル作品を創作しました。

本番当日は、近藤さんも司会進行役として登場。オリジナルの音楽などに合わせて元気でポップなダンスや、都城ゆかりの郷土料理「がね」を題材にラップで表現したり、ベブ(牛)をモチーフにしたダンスや、今回制作したオリジナルダンス「ウキウキ都城」を踊ったりと、会場を楽しませながら一体感を作り上げていました。

## 出演

近藤良平、公募参加者、合唱団あさざり、都城泉ヶ丘弓道部、松下太紀

## 主催

文化庁、厚生労働省、宮崎県、宮崎県教育委員会、都城市、都城市教育委員会、第35回国民文化祭宮崎県実行委員会、第20回全国障害者芸術・文化祭実行委員会、第35回国民文化祭、第20回全国障害者芸術・文化祭都城市実行委員会、都城市文化振興財団・MAST 共同事業体

## 088 ムーブメント・アート・インみやぎき2021

宮崎市

開催日：令和3年10月8日(金)、9日(土) 開催場所：メディキット県民文化センター 演劇ホール



## 実施状況

県内の園児から大学生、一般のグループなど約290人が参加しました。新型コロナの影響や日程の調整ができずに出演できなかった特別支援学校や幼稚園などがありましたが、地域や世代を超えた芸術の交流の場となりました。

「スクールダンスコンクール」には6チームが参加。「表現・創作ダンス発表会 & エキシビション」では、県内の幼稚園・保育園や小学校、一般など13チームが参加し、オープニングダンスは、出演者全員が次々にジャンプをし会場は大きな拍手でわきました。また、天理大学(奈良県)と岡崎女子大学(愛知県)の招へい作品も上演されました。8日には、香港の振付家 Ong Yong Lock さんによる「県民のための国際ダンスワークショップ」をオンラインで開催し、翌9日のエキシビション内で成果発表されました。

## プログラム

スクールダンスコンクール出演／小学校1、中学校1、高等学校4▽表現・創作ダンス発表会／幼稚園・保育園4、小学校1(特別支援学級)、一般2▽エキシビション上演作品／招待3、国際ダンスWS作品1、受賞作品2

## 表彰

宮崎県教育委員会教育長賞／都城農業高校▽宮崎県女子体育連盟賞／日章学園高校▽審査員賞／恒久小学校▽特別賞／宮崎西高校、宮崎北高校、宮崎学園中学校

## 主催

文化庁、厚生労働省、宮崎県、宮崎県教育委員会、宮崎市、宮崎市教育委員会、第35回国民文化祭宮崎県実行委員会、第20回全国障害者芸術・文化祭実行委員会、第35回国民文化祭、第20回全国障害者芸術・文化祭宮崎市実行委員会、ムーブメント・アート・インみやぎき実行委員会、宮崎県女子体育連盟

## 089 太鼓の祭典

宮崎市

開催日：令和3年7月11日(日) 開催場所：宮崎市民文化ホール 大ホール



## 実施状況

全国各地で活躍する8県18団体の和太鼓グループが一堂に会し、勇壮で華やかな太鼓の響演をしました。力強い演奏で、集まった太鼓ファン900人を魅了しました。

オープニングを飾ったのは、本県の和太鼓チームに中高生も交えた県太鼓連合同チーム。総勢72人による息の合った演奏で幕を開けました。第1、2部は公募で集まった県内外の13団体が登場。カラフルな衣装に身を包み、地域色豊かに太鼓の音色を響かせました。第3部は特別出演として、倉敷天領太鼓(岡山県)や本県の橘太鼓「響座」などゲスト4団体が、さらに迫力のある演奏を繰り広げました。

来場者は手拍子をしたり体を揺らしたりして演奏を楽しんでいました。来場した中学生は「迫力ある演奏ばかりで驚かされた。太鼓を習っているので、練習を頑張りたい」と話していました。

## プログラム

【オープニング】宮崎県太鼓連合同チーム

【第1部】舞鶴一座 秋月鼓童(宮崎県)、城南火の君太鼓(熊本県)、全国民謡銭太鼓保存会 檀浦流銭太鼓(広島県)、肥ノ國太鼓衆 真紅舞(熊本県)、和太鼓一座天響(宮崎県)、広島文教大学附属高校和太鼓部「文教太鼓 葵」(広島県)、五ヶ瀬中等教育学校太鼓部「鼓魂」(宮崎県)、熊本市立必由館高校和太鼓部(熊本県)、轟太鼓一座(宮崎県)

【第2部】大和太鼓保存会(佐賀県)、龍潮太鼓(宮崎県)、人吉ねぶか太鼓(熊本県)、大治太鼓保存会(愛知県)

【第3部】倉敷天領太鼓(岡山県)、和太鼓たざり(福岡県)、御陣乗太鼓保存会(石川県)、橘太鼓「響座」(宮崎県)

## 主催

文化庁、厚生労働省、宮崎県、宮崎県教育委員会、宮崎市、宮崎市教育委員会、第35回国民文化祭宮崎県実行委員会、第20回全国障害者芸術・文化祭実行委員会、第35回国民文化祭、第20回全国障害者芸術・文化祭宮崎市実行委員会、公益財団法人日本太鼓財団▽協賛：全九州太鼓連合、日本太鼓財団宮崎県支部、宮崎県太鼓連合

## 090 能楽の世界

宮崎市

開催日：令和3年8月29日(日)

開催場所：メディキット県民文化センター 演劇ホール



## 実施状況

二十六世観世宗家・観世清和師、人間国宝の大槻文藏師など一流の能楽師ら27人が出演し、能や狂言など4つの演目を熱演しました。地方では鑑賞する機会の少ない伝統文化だけに、観客は幽玄の世界に見入りました。

宮崎市出身で観世流シテ方・久保誠一郎師の舞囃子「養老」で幕開け。謡と囃子の演奏に乗せて、天下泰平を祝う山の神の舞をさっそうと披露。会場から大きな拍手が起きました。羽衣伝説をテーマにした能「羽衣」では、観世清和師が天女を清らかに演じました。

狂言「隠狸」では、主人と太郎冠者のやり取りや軽妙なしぐさに客席が引き付けられました。半能「石橋」では、大槻文藏師と大槻裕一師が獅子に扮して登場。浄土へ続く石段を渡ろうとする法師を勇気づける、力強く華麗な舞を見せていました。

会場のホワイエでは、多数の受賞歴を持つ能面作家の海老原彰さんの製作した能面20点や、製作過程の展示などもあり、来場者を引き付けていました。鑑賞した女性は「鼓や舞の所作などに、和の世界の素晴らしさを感じました。今後、県内で公演があれば見に行きたい」などと話していました。

## プログラム

舞囃子「養老」、能「羽衣」、狂言「隠狸」、半能「石橋」

## 主催

文化庁、厚生労働省、宮崎県、宮崎県教育委員会、宮崎市、宮崎市教育委員会、第35回国民文化祭宮崎県実行委員会、第20回全国障害者芸術・文化祭実行委員会、第35回国民文化祭、第20回全国障害者芸術・文化祭宮崎市実行委員会、宮崎能楽振興協会

## 091 のべおか天下一薪能

延岡市

開催日：令和3年10月2日(土)～10日(日)

開催場所：延岡総合文化センター 大ホール、市民協働まちづくりセンター



## 実施状況

新型コロナのため、恒例の延岡城址特設会場から、延岡総合文化センターに会場を変更して9日に行われました。観世流能楽師シテ方の片山九郎右衛門さんら能楽界のトップクラスが出演、初公演となる能「橋弁慶」などを厳かに舞いました。

舞台は、「千人殺し」の石垣を思わせる紗幕を設置し、ろうそくに火をともしなどして幽玄の世界を演出。片山さんや大蔵流狂言師の茂山千五郎さんらに交じり、延岡市の「こども能プログラム」で育った小学生から高校生までの5人も出演しました。

能「橋弁慶」では、武蔵坊弁慶役の片山さんと、牛若丸役を下沖花萌さん(延岡星雲高校2年)、弁慶の従者役を川崎将宏さん(延岡東小学校6年)が務め、迫力の立ち回りを披露。源氏物語を題材にした能「葵上」では、片山さんは光源氏の正妻、葵上に取りついた六条御息所の怨霊を熱演しました。狂言では茂山千五郎さんと茂山千之丞さんの2人の掛け合いで会場を笑わせました。

関連イベントとして、能舞台と石垣コンサート(10日)、落語家の春風亭昇太さんと奈良大学の千田嘉博教授による「お城」をテーマにしたトークショー(7日)、第1回から第23回までを振り返る写真展なども開かれました。

## プログラム

能「橋弁慶」、能「葵上」、狂言「仏師」、仕舞「老松」「嵐山」「羽衣」

## 主催

文化庁、厚生労働省、宮崎県、宮崎県教育委員会、延岡市、延岡市教育委員会、第35回国民文化祭宮崎県実行委員会、第20回全国障害者芸術・文化祭実行委員会、第35回国民文化祭、第20回全国障害者芸術・文化祭延岡市実行委員会、NPO法人のべおか天下一市民交流機構 ▽協賛=旭化成株式会社

## 092 のべおか 2020「太鼓の響き」

延岡市

開催日：令和3年10月3日(日) 開催場所：延岡総合文化センター 大ホール



## 実施状況

九州、四国、中国地方の和太鼓グループ12団体が出演。勇壮な演奏を披露し、約640人の観客を魅了しました。

地元延岡市の日向乃國延岡雲海太鼓、和太鼓道場巴塾、延岡すみれ太鼓あゆっこ隊、龍潮太鼓「鼓衆」の合同チームによる迫力満点の演奏で開幕。続いて招待チームが、その土地ならではの特色ある太鼓の音色を響かせました。徳島県の藍吹雪は、阿波踊りとのコラボを実現。独特のリズムに合わせ躍動感あふれる踊りも披露しました。スペシャルゲストの鼓童(新潟県)は、大太鼓1人打ちを披露するなど、圧巻のパフォーマンスを見せました。

フィナーレは延岡市の全太鼓チームが登場。来場者は「これぞ日本の伝統芸能といえる演奏に触れて、たくさんの元気をもらいました」と感激した様子でした。

## 出演団体

日向乃國延岡雲海太鼓(延岡)、和太鼓道場巴塾(延岡)、延岡すみれ太鼓あゆっこ隊、龍潮太鼓「鼓衆」(延岡)、泰山太鼓(岡山県)、宇部太鼓(山口県)、藍吹雪(徳島県)、糸島二丈絆太鼓(福岡県)、大和太鼓保存会(佐賀県)、天孫降臨霧島九面太鼓保存会(鹿児島県)、橋太鼓「響座」(宮崎県)、太鼓芸能集団「鼓童」(新潟県)▽フィナーレ／ひむか太鼓連盟

## 主催

文化庁、厚生労働省、宮崎県、宮崎県教育委員会、延岡市、延岡市教育委員会、第35回国民文化祭宮崎県実行委員会、第20回全国障害者芸術・文化祭実行委員会、第35回国民文化祭、第20回全国障害者芸術・文化祭延岡市実行委員会、ひむか太鼓連盟、公益財団法人のべおか文化事業団 △協賛=旭化成株式会社

## 093 ひむかの国こども落語チャンピオン大会

日向市

開催日：令和3年10月3日(日) 開催場所：日向市文化交流センター



## 実施状況

平成21年から続く日向市の「こども落語全国大会」歴代最優秀賞受賞者のうち5人が参加して、初めての「チャンピオン大会」が開催されました。

小学生のころから出場していた出演者たちは、中学、高校、大学へと進みながら心身共に成長。5人の中には、本県出身のしいのみ亭らんらん=鳥原蘭さん(中学校3年)、ひむか亭いちご=田島小春さん(大学1年)の2人も。持ち時間15分で、「日向市」をイメージする話題を取り入れながら、それぞれが得意とする内容で高座を務めました。

日向市出身で落語家の桂歌春さんや過去の大会出場者でプロの落語家となった春風亭弁橋さんが審査員を務めました。グランプリは、桜家尋エモンさん(東京都)。風格のある「締め込み」を披露しました。同実行委員会会長賞には「お菊の皿」を演じた、しいのみ亭らんらんさんが選ばれました。

## プログラム

開会行事 △出場者落語披露 △「ひよっこ踊り」五十猛ひよっこ申 絆西樂会 △結果発表・総評・表彰式▽桂歌春、春風亭弁橋による落語

## 出演者

門司港亭小もじ=山下雄也(福岡県)、ぷりん亭芽りん=荒木愛琳(兵庫県)、桜家尋エモン=太田尋(東京都)、しいのみ亭らんらん=鳥原蘭(宮崎県)、ひむか亭いちご=田島小春(日向市出身)

## 主催

文化庁、厚生労働省、宮崎県、宮崎県教育委員会、日向市、日向市教育委員会、第35回国民文化祭宮崎県実行委員会、第20回全国障害者芸術・文化祭実行委員会、第35回国民文化祭、第20回全国障害者芸術・文化祭日向市実行委員会、公益財団法人日向文化振興事業団、こども落語全国大会実行委員会

## 094 日本民謡のおこり 古典芸能公演

宮崎市

開催日：令和3年10月7日(木)

開催場所：メディキット県民文化センター 演劇ホール



## 実施状況

北海道から沖縄県まで、日本各地に唄い継がれてきた民謡を、解説を加えながら三味線や尺八の音に合わせて披露しました。

2部構成で、第1部はミュージカル劇団Mu工房(宮崎市)で、古事記の神話を題材にオリジナルミュージカル「幻影」(ファントム)を団員40名で演じ会場を盛り上げました。

第2部は民謡を海唄(音頭調)、山唄(追分調)、陸唄(お座敷調、騒ぎ唄)の3種に分け、民謡のルーツについて分かりやすく解説を加えながら33曲を歌いあげました。日本民謡協会宮崎はまゆう会の会員約40人は、三味線や尺八に合わせて自慢ののどを披露。奥深い旋律が会場を包み込みました。

三重県の伊勢音頭や北海道のソーラン節では民舞も披露。本県に伝わる日向木挽唄や刈干切唄など7曲が演奏されると、会場からはひときわ大きな拍手がおきていました。

来場者は「子どもの頃に両親がよく歌っていたのを思い出しました。懐かしさが胸に染みる公演でした」と話していました。

## プログラム

【第1部】オリジナルミュージカル「幻影(ファントム)」

【第2部】民謡のルーツを訪ねて

## 主催

文化庁、厚生労働省、宮崎県、宮崎県教育委員会、宮崎市、宮崎市教育委員会、第35回国民文化祭宮崎県実行委員会、第20回全国障害者芸術・文化祭実行委員会、第35回国民文化祭、第20回全国障害者芸術・文化祭宮崎市実行委員会、公益財団法人日本民謡協会宮崎はまゆう会

## 095 刀匠松葉國正刀剣展

日向市

開催日：令和3年10月7日(木)～14日(木)

開催場所：日向市文化交流センター 小ホール、日向市中央公民館 ホール



## 実施状況

日向市在住で日本美術刀剣保存協会無鑑査刀匠・松葉國正さんの自作の日本刀など12振りが展示されました。10日には松葉さんによるトークショーも開かれ、県内外から多くの刀剣ファンなどが訪れました。

会場には長さ3尺2寸(約98cm)の大太刀をはじめ、刀や脇差などが並びました。さらに、作刀の様子を写した写真パネル、原料となる玉鋼、制作道具、漫画「KATANA」シリーズの作者かまたきみこさんデザインの特製タペストリーなども展示。若手刀匠による銘切りの実演もあり、来場者は熱心に見入っていました。

刀剣トークショーでは、松葉さんとかまたさん、イギリス出身で刀剣研究家のポール・マーティンさんが登壇。松葉さんは「戦国時代でも刃文の美しさや地金の良さなど、鍛冶職人たちは見た目の美しさを競っていました」などと説明。ポールさんは「大英博物館の日本ギャラリーで日本刀を見てとても感動しました」と刀剣に興味を抱いたきっかけなどを披露しました。ステージでは、刀匠による試し切りの実演も行われました。

## トークショー出演

松葉國正(刀匠)、かまたきみこ(漫画家)、

ポール・マーティン(刀剣研究家)

## 主催

文化庁、厚生労働省、宮崎県、宮崎県教育委員会、日向市、日向市教育委員会、第35回国民文化祭宮崎県実行委員会、第20回全国障害者芸術・文化祭実行委員会、第35回国民文化祭、第20回全国障害者芸術文化祭日向市実行委員会、公益財団法人日向文化振興事業団

## 096 神楽と民謡うたまつり (中止)

門川町

開催日：令和3年9月19日(日)

開催場所：門川町総合文化会館 大ホール

予定していた  
事業内容

毎年秋に開催している民謡の祭典を、国文祭・芸文祭に合わせ神楽と民謡のコラボレーションによる「神楽と民謡うたまつり」として企画しました。

神楽は、道川神楽社中(島根県)と門川神楽保存会愛隆会が出演。スサノオノミコトの八岐大蛇退治を題材とした石見神楽の勇ましい舞いと、釣り竿とタイを持った恵比須様の舞などが奉納される予定でした。

民謡は、北海道民謡と鹿児島奄美の島唄、九州を代表する民謡と宮崎民謡にJAZZバンドとの共演など若い唄手と米良美一さんの進行など楽しいステージが予定されていました。

予定していた  
プログラム

【第一部 民謡うたまつり～北国の唄から奄美の島唄と九州民謡】  
出演者／米良美一(ナビゲーター)、宮崎県民謡／竹中稔和、甲斐愛、花岡清子、九州民謡／吉富今日子、吉富弥々、吉富桜々、香月保乃、泥谷吉人、香月バンド、北海道民謡／佐藤勇一、卯子澤裕実、丹保裕子、奄美島唄／松山美枝子、平田まりな、西原せれな

## 【第二部 神楽まつり】

出演者／島根県石見神楽(島根県益田市匹見町・道川神楽社中)、門川神楽(門川神楽保存会愛隆会)

主催

文化庁、厚生労働省、宮崎県、宮崎県教育委員会、門川町、門川町教育委員会、第35回国民文化祭宮崎県実行委員会、第20回全国障害者芸術・文化祭実行委員会、第35回国民文化祭、第20回全国障害者芸術・文化祭門川町実行委員会、公益財団法人門川ふるさと文化財団

## 097 全国吟剣詩舞道祭 (中止)

宮崎市

開催日：令和3年9月5日(日)

開催場所：宮崎市清武文化会館 半九ホール

予定していた  
事業内容

漢詩や和歌、近代詩などに節をつけて詠う吟詠と、それに合わせて舞う剣舞、詩舞を総称した日本の伝統的な芸道である吟剣詩舞道を、全国に発信し次世代に受け継ごうと企画されました。

この大会では、宮崎県内の吟詠、剣舞、詩舞の10団体が、平和台、青島、若山牧水など本県ゆかりの名所や偉人などを織り込んだ、約1時間の構成吟「神話の故郷みやざき」を披露する予定でした。また、全国で活躍する吟剣詩舞道家による特別公演、30歳以下のコンクール優勝者で構成するスーパーチームの出演、九州の各会派による合吟、幼少青年選抜による吟詠など多彩なプログラムが予定されていました。

新型コロナの影響を受け、中止になりました。

主催

文化庁、厚生労働省、宮崎県、宮崎県教育委員会、宮崎市、宮崎市教育委員会、第35回国民文化祭宮崎県実行委員会、第20回全国障害者芸術・文化祭実行委員会、第35回国民文化祭、第20回全国障害者芸術・文化祭宮崎市実行委員会、第35回国民文化祭・みやざき2020全国吟剣詩舞道祭実行委員会